

## 第12回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

- 1 開催日時 令和6年3月25日(月) 午後2時
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3・4
- 3 出席者

名古屋市立大学 特任教授	鈴木 賢一 (会長)
愛知工業大学工学部 教授	鈴木 森晶 (副会長)
愛知教育大学教育学部 教授	風岡 治
豊山町議会 議長	坪井 孝仁
豊山中学校PTA 会長	保科 秀賢
事務局	
教育長	北川 昌宏
教育委員会事務局長	安藤 憲司
教育参事	小出 泰司
学校教育課長	菊地 智行
学校教育課学校教育グループ長	山永 五香
学校教育課学校教育グループ主任	安藤 彬
株式会社地域計画建築研究所	
チームマネージャー	間瀬 高歩
チーフ	塗師 木伸介
- 4 欠席

中部大学教職課程センター 教授	武者 一弘
愛知学泉大学家政学部 教授	前田 治
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長	池山 和徳
豊山中学校 校長	篠田 弘男
- 5 傍聴者 2名

## 6 議題

(1) 豊山中学校改築基本計画（案）について

## 7 会議資料

豊山中学校改築基本計画（案）

## 8 議事内容

【(1) 豊山中学校改築基本計画（案）について】

-事務局より資料を説明-

(資料説明：事務局)

委員：1ページ目の策定の経緯内「豊山中学校施設整備基本構想会議（以下「構想会議」という。）」とあるが、以後、「構想会議」という言葉が出てくる部分はあるか。策定の目的内の「豊山中学校改築基本(整備)計画（以下「本基本計画」という。）」の「本」は必要か。以後出てくる部分はあるか。

事務局：11ページに「豊山町中学校施設整備基本構想会議」という記載があるが「構想会議」という記載が正しいため修正する。「本基本計画」については2ページや10ページに記載がある。「本基本計画」は現在策定しているこの基本計画を指すため、「本基本計画」としている。

委員：最終的に現豊山中学校敷地に建設することが良いのではないか、というまとめとなっている。コスト面では豊山スカイプール等敷地とすると12億円程度の差があるということを考慮してかと思う。これからの公共施設の更新も考えると理解できる判断である。しかし、一番考慮して頂きたい部分である工期工事の影響において、学校運営に与える影響は大きいと記載されている。仮設校舎も含め検討していくべきであると考えますが仮設校舎の費用はどの程度整備コストに含まれているか。

事務局：仮設校舎の費用については6億3200万円で概算しており、整備コストに含まれている。

委員：仮設校舎をどのあたりに建設する予定か。解体の費用も含まれているか。

事務局：解体についても費用を見込んでいるが、仮設校舎の場所は未定として概算で算出している。

委員：仮設校舎の場所によって工事期間中の影響が大きく変わると思うが、方針を決めないと住民への説明が難しいのではないか。学習環境への影響も懸念される。今後の豊山小学校建替えのことも考えると、小学校の建替えの

際に仮設校舎を続けて利用すればコスト的にも削減を図れるのではない  
か。仮設校舎の方針もある程度示していく必要があると考える。

事務局：仮設校舎の場所については現在の運動場が基本とは考えているが、色々な  
ご意見があると思われるので、今後さらに検討したい、という意味で明示  
していない。

委 員：これから総合的な検討をする必要があるかと思うが、スカイプールの廃止  
が令和6年度末に予定されている。スカイプールをどうするか。そのまま  
残すのか。例えば仮設校舎をスカイプール敷地に建設することはあり得な  
いのか。それをそのまま小学校の建て替えの際にも利用できないか。

会 長：ありがとうございます。他の委員の方も関連する意見はないか。

副会長：場所について現地建替えを最終案として出して頂いているが、立地面から  
は良い判断であると感じる。豊山スカイプール等敷地のように地盤改良や  
基本インフラが全く無い場所に建設することは基本的なコストも大きくか  
かるのではないかと感じる。仮設校舎の位置については良い案が今後出る  
と良いと感じる。事業手法について、DB手法を採用することだが、  
要求水準について、時間が経過するにつれて、当初の想いが忘れられたり  
することや、反対に昔の決めたことに拘り過ぎる場合もある。3年もかけ  
てつくったものなので、これからも当初の想いを忘れずに、かつ柔軟に取り  
組んで頂きたい。

委 員：要求水準書をつくる過程で内容が変わっていく可能性がある、とのことだ  
が、今後、世の中も数年で大きく変わる可能性もあるので、その状況に応  
じてブラッシュアップしていくことは大切だと感じる。例えばICT環境  
や多様な子どもたちに対応するインクルーシブな環境づくりに対応してい  
く、ということはしっかり書き込んでいくべきだと考える。もう少し打ち  
出しがあってもよい。コミュニティスクール化について継続検討するとあ  
るが、文部科学省では学校運営協議会の仕組みがある学校のことをコミュ  
ニティスクールと呼んでいる。学校のあり方そのものがコミュニティスク  
ールという解釈をしているわけではない。地域住民の方々が活動する環境  
を整えていくという趣旨であればコミュニティスクールという言葉を用い  
ると誤解や齟齬が生じていくと感じる。

会 長：要求水準の策定から完成までに6年を要する予定であるが、社会の変化に  
対してブラッシュアップしていく仕組みをぜひ考えて頂きたい。

事務局：コミュニティの拠点機能としての学校という趣旨で記載している。そのた  
めご指摘のように文部科学省の示す内容と違っている。地域との関連で生

涯学習やコミュニティというキーワードがあり得るだろうという考えである。

会 長：現在はハードの検討段階であるが、実際の中身の部分については今後さらに検討されていく必要があると感じる。文部科学省の示す内容と混同されないように記載頂きたい。

事務局：修正する。

委 員：前回までは整備コストについて順位を示すのみであったが、具体的な数字が記載されることによって、致し方ない判断であると感じる。しかし、このまま決めてしまってもよいのか、とも感じる。町民アンケートでは場所については聞いていない。このままの案のまま進めるのか、完全にここで決定するのか、今後のスケジュールも含め、教えて頂きたい。決まった後も判断を変えることはできるのか。

事務局：整備手法と敷地選定についてここ数回の会議では議論頂いているが、今回の判断は教育委員会としての答えである。学校という行政財産については議会決定も含め、町全体で最終判断する必要がある。町長の議会答弁においては町民の皆様のご意見をお聞きする懇談会の実施に関する発言もある。この時点で完全に決定ではなく、先ほどのご指摘にあったように柔軟に判断し、最適な選択をしていきたい。

委 員：32ページの事業スケジュールについて、議会では令和6年度については住民への説明、意見聴取等の期間としたいとの説明があった。それを受けて令和7年度に要求水準書をつくることになると、令和12年に完成するイメージになるかと思う。

事務局：当面の日程としてはご発言の通り、住民の皆様の意見を聞き、意見をふまえながら進める予定である。

委 員：順調にいくと2030年に完成ということになると思う。中学校の建替え後に小学校の建替えが控えていることを考えると、小学校の建て替えが10年近く後になるように感じる。財政負担の平準化もふまえ、スケジュールをもって進める必要があると考える。

事務局：長寿命化計画を令和2年8月に公表しているが、その中で、まずは中学校の建替えを進めるという判断となっている。学校の建替えについては町全体の財政運営と密接に関わるので総務部局と協議しながら進めたいと考えている。明確な期日は申し上げづらい。コロナの影響により、児童数はこの数年間で減少が進んでいる。ICTの技術発展も非常に速い。そういった面をふまえながら進めていきたい。

- 委員：子どもの数についてはあと数年様子を見るべきであるように感じる。
- 事務局：児童数については令和4年改訂の公共施設総合管理計画における数字を用いているのでそこまで古い数字ではないと認識している。
- 会長：全体の印象として、現豊山中学校敷地という判断は総合的に良いと感じている。豊山スカイプール等敷地においては敷地が2つに分かれていることは建築計画的に難しさもあると感じている。スカイプール跡地の扱いも懸念されているが、今後の小学校の建替えも控えていることから仮設校舎を建設せずに建て替えることも考えられる。仮設校舎をどこに建設するか等、具体的にどのようにするか、次の1年の検討が非常に重要になる。現地建て替えは運動場が使えなくなり、騒音や安全性の面でも考えるべき点が多くある。要求水準をどのように固めていくかについては次のステップとして検討する必要がある。
- 委員：33ページに本会議の設置要綱が記載されているが、委員の任期は中学校の改築終了まで、となっているが間違いないか。
- 事務局：本会議は建設完了まで続けたいと考えている。やり方については様々考えられるが、もう少し具体的な内容を検討する必要があるれば分科会の開催も考えられる。
- 委員：次回は女性や障がい者の方等も委員として検討頂けると良い。
- 事務局：そういった方々の意見も伺うが、他市の事例などをよく知っておられる委員の方々がいる会議として本会議があると考えている。
- 会長：若干文言の修正や今後の柔軟な対応をしていくといったことを追記は必要であるが、概ねの内容については本日の資料でよろしいか。
- （異議無し）
- 会長：それでは今後の修正については会長預かりとさせていただきたい。
- （異議無し）
- 会長：それでは本日の議題はこちらで終了とさせていただきます。

上記のとおり第12回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和6年 4月10日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 坪 井 孝 仁